

マーケットの動き（2023年9月18日～9月22日）

先週の米国株式市場は、前週末比で下落しました。

9月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）において、2024年末の政策金利見通しが前回から0.5%引き上げられたことで、米国の金融引き締め長期化に対する警戒感が強まりました。全米自動車労働組合によるストライキ拡大に対する懸念なども相場の下押し圧力となり、米国株式は軟調に推移しました。

欧州株式市場は、前週末比で下落しました。

投資環境見通し（2023年9月）

外国株式相場は、米国、欧州ともに上昇するも上値は重い

企業業績についてはサービス業の景況感や個人消費の底堅さが下支えになるとみられますが、依然として業績見通しが引き下げられる可能性は残ります。米国株式相場は、堅調な景気とインフレの鈍化傾向を背景とした長期金利の低下に支えられ上昇するとみています。ただし、中国不動産業界を巡る不安が世界景気に影を落とす可能性があることに加え、FRB（米国連邦準備制度理事會）による金融引き締め姿勢もあり、上値は重いとみています。欧州株式相場は、上昇するとみていますが、ECB（欧州中央銀行）は金融引き締め姿勢を維持するとみられることに加え、中国景気に対する不安もあり、上値の重い展開を予想しています。

	9月22日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	4,320.06	▲2.93%	▲1.54%	9.73%	14.96%
NYダウ	33,963.84	▲1.89%	▲0.95%	6.04%	12.92%

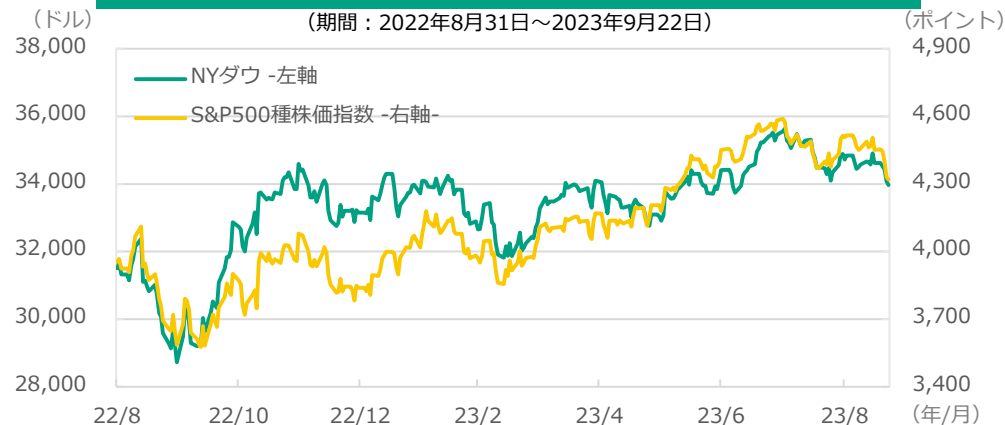
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

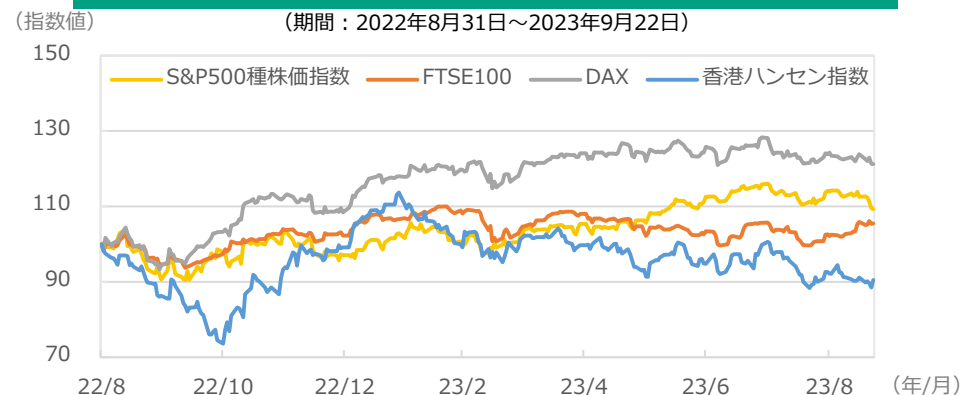
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202309_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2022年8月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成